



- 講師：清水 伸
(株式会社博進堂 代表取締役社長)
- 日時：2017年11月17日(金) 13:30~17:00
- 会場：森の共育実修所「点塾」
- 参加人数：5名

[プログラム]

- 講義「ブランディング概論」
- ブランディング事例紹介
- 実習「自社のブランディングのタネを見つける」
- グループディスカッション「ブランディングの可能性を探る」

企業のブランド価値を高めるイメージ戦略とは 印刷会社の社長に聞く PART2

大人気の印刷会社の社長に聞くシリーズPart2、講師は博進堂代表取締役の清水社長です。

国内でCI(コーポレートアイデンティティ)の導入が積極的になり始めたのは1970年代。博進堂では、それまでのビジュアル先行だったアメリカ型のCIではなく、パイオニアとして活躍されていた中西元男氏から学んだ理念・VI(ヴィジュアルアイデンティティ)・人を中心とした「日本型CI」による支援を行ってきたそうです。そして、清水社長が手掛けたCIの実績をご紹介します。ある写真スタジオのロゴ、店舗、商品開発のデザインを手掛けた時には、あまりにもお客さんが増えすぎてオペレーションが間に合わなくなった経験もあるそうです。

その後の実習では自社の強みと求められていることを挙げていきましたが、日常ではあまり考える機会がなかったのかもしれない。自社の強みを理解し、仕事を通じて市場との信頼関係をつくっていくことが大切だと感じました。



[講師より]

「ブランディングとは何か?」「企業のブランド価値を高めるイメージ戦略とは?」という難しい問いをもらい、大変な講座を引き受けたというのが実感です。今回は私の生い立ちに始まり、プリントショップでの体験、CIとの出会い、伸デザイン、まちづくり、博進堂など私のこれまでの経験や手掛けた事例を中心に話をさせていただきました。皆さん、最後までよく聞いてくださったことに感謝です。やってみて気づいたことは、まず自分が手掛けた仕事の記録をきちっと残してこなかったことへの反省です。

ブランディングのまとめとしては①いいモノをつくる、継続する、こつこつと。②いい仕事をする(役割の中で)。③企業理念の体現、実現。抽象的ですが、これが大事だと思っています。

株式会社博進堂 代表取締役社長
清水 伸



CHECK OUT CARD

お客様の立場になった
時に、この会社なら
任せられる・この会社に
仕事を頼みたいと思える
ような会社にしたい
と思いました。

CHECK OUT CARD

自分の出来ることを
確実にやっていきます。

CHECK OUT CARD

「ブランディング」とは
→「みがきこんで、継続させること
が大事。」

オープンファクトリー
→「かせく」だけでなく、
人と喜ばせる活動も大事」

CHECK OUT CARD

「アルバムの博進堂」
以外のブランドのタネ
を育てることと、
博進堂の brandingは
もっと進化すると
感じました。

